

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

# Dogushi

胸串 -どぐし-

Spring 2017

Vol.17

## 特集

観て、創って「わくわく」体験  
いいた人形劇センター年間イベントスケジュール



Dogushi 2017年4月発行 発行：人形劇のまち飯田運営協議会  
制作：NPO法人いいた人形劇センター 〒306-0044 長野県飯田市本町1-2 TEL:050-3583-3594 FAX:050-3583-3594 E-mail: iida-puppet@misjans.or.jp

## 掲示板 いいた人形劇センターからのお知らせ

### 新年度会員募集中!

NPO法人いいた人形劇センターは、センターの目的と活動にご理解、ご賛同いただき、活動を支援していただける平成29年度の会員を募集しています。正会員・賛助会員(いずれも個人・団体)にお申込みいただけますと会員特典として、季刊情報誌『Dogushi』や公演・イベントなどのお知らせを随時配信させていただくほか、公演チケットの割引販売、会員相互のネットワークを構成します。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

<年会費>

正会員5,000円

(企画を提案できます。総会での議決権あり)

賛助会員1口2,000円

(活動を財政面から支えていただきます)

●問合せ:いいた人形劇センター

●TEL:050-3583-3594

●URL:iidapapacen.com

「入会案内」メールフォームからお申込みいただけます。

Dogushi

## 並木さんぽ

今春、創設5年目を迎えるいいた人形劇センター。これまでに飯田下伊那をはじめとする市民の皆さんといくつもの人形劇を制作してきました。飯田市に人形劇が根付いて40年近くになり、「人形劇を観る」ことに慣れ親しんだ感はあるものの、演じる側になってみるというのはなかなか根気と勇気があるもの。制作過程でぶつかる困難な壁を乗り越え、上演までこぎつけると皆さん「演じることが楽しくなってきた」と言ってくださることが何よりありがたく感じられます。さらに上演を重ねてもらうための支援、そして新たに人形劇を制作したいと思う方への支援をこれからも続けていきます。

次号は7月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子



View of IIDA

飯田下伊那唯一の造り酒屋「喜久水酒造」で開催された春恒例の新酒まつりで今田人形座が「戎舞」を上演。戎さまが海の幸、山の幸を前にみんなの願いを叶えようと「一献、もう一献」と繰り返しお神酒を飲む様子に、ほろ酔い気分のお客さんたちからは大きな掛け声と拍手。酔った戎さまが沖に出て大きな「鯛」を釣りあげ、新酒まつりに花を添えました。

## わかる!! 人形劇用語

### 「香盤(表)」

お芝居の公演などの進行表のことを「香盤表」、もしくは単に「香盤」といいます。出演する役者や役名、登場退場する場面などが書いてあります。人形劇ではどの人形道具がどのシーンで登場するか、といったことが書いてあるわけです。順番そのものも「香

盤」ということもあり、登場順を間違えると「香盤が違う」と怒られることとなります。元々の「香盤」は、お線香を立てる台。升目の中にお線香を立てる丸い穴が開いています。演劇の香盤表も升目になっていて、出番のシーンに丸が書いてある様子が似ていたことから「香盤」と呼ばれるようになったという話です。映画などの撮影では撮影の順番や出演者の出入り、セット組みなどが書いた表を「香盤」と呼び、劇場客席の座席表も

また「香盤」と呼ぶことがあります。(人形芝居燕屋くすのき燕)

### 香盤表

出番	出演者
1	かざこし太郎
2	飯田ドグシ
3	本町子
	休憩
4	山んぼ
5	たまき

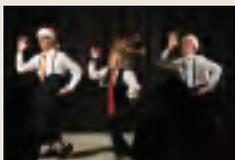


# 観て、創って、わくわく、体験

## いいだ人形劇センター年間イベントスケジュール

人形劇公演はもちろん、初心者向けの人形劇講座や巨大人形劇プロジェクト、人形操作、美術制作などのワークショップ、季刊情報誌の発行など、平成29年度もいいだ人形劇センターはさまざまな、体験のタネがいっぱい。さらに、川本喜八郎人形美術館開館10周年の記念企画展も見応え十分。ぜひ予定に入れてください。

8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	2018年1月	12月	11月	10月	9月	8月
<ul style="list-style-type: none"> <li>●麻績の里桜まつり 竹田人形座竹の子会特別上演 4月8日(土)・9日(日)各11時13時</li> <li>●黒田人形浄瑠璃奉納公演 4月8日(土)18時・9日(日)13時</li> <li>●基礎レッスン 4月14日(金)19時30分 飯田人形劇場 出演/竹田人形座竹の子会 ハルボンス</li> <li>●4月～通年 飯田文化会館ほか 人形劇演劇の経験者対象。即興表現、身体発声訓練、脚本の読み解きなど舞台にかかわる人のための基礎づくり</li> <li>●沢則行監督 巨大人形劇プロジェクト in 南信州「さんしょうお」 4月～10月</li> <li>●子工を拠点に世界で活躍する人形劇師 沢則行氏を講師に、井伏鱒二著「山椒魚」を題材にした巨大人形劇を制作する。二年計画のプロジェクト</li> <li>●川本美術館企画展① 人形劇映画「項羽と劉邦」展 4月23日(日)まで 川本美術館3階スタジオ</li> <li>●川本美術館企画展② 連続人形活劇「新三銃士展」 4月29日(祝土)～6月25日(日) 川本美術館3階スタジオ</li> <li>●人形美術館コンサート 人形と音楽がよみがえる「新三銃士の世界」 4月29日(祝土)19時 川本美術館3階ホール</li> <li>●人形の美演と音楽を担当したスパニッシュ・ネクションのスペシャルライブ ●季刊情報誌「Dogushi」春号発行 4月上旬</li> <li>●人形劇講座初級コース 5月～9月 飯田文化会館ほか 初心者対象。作品選びから人形づくり、上演までを体験</li> <li>●人形劇講座中級コース 5月～9月(前期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</li> <li>●ワークショップ付き人形劇公演 5月27日(土)10時30分 飯田文化会館 小中学校で人形劇制作に取り組み児童や生徒、アマチュアの市民劇制作に向けたワークショップ付の人形劇公演。一般の方にもおすすめ</li> <li>●人形劇の相談所 5月23日(火)～6月20日(火)の毎週火曜 いいだ人形劇フェスタ上演に向けて人形劇制作に取り組んでいる方のためによる相談所を開設。9月以降は随時開催予定「無料」</li> <li>●三人遣いワークショップ 6月3日(土) 川本美術館下 今田人形座を講師に伝統人形芝居の操演方法「三人遣い」を体験「無料」</li> <li>●人形劇 in 竹宵まつり 6月3日(土) 川本美術館下 「竹宵まつり」キヤンドルナイト開催にあわせ、和ろうそくの灯りで楽しむ人形劇公演 出演/今田人形座「伊達娘恋緋鹿子・火の見櫓の段」 「無料」</li> <li>●川本美術館開館10周年記念コンサート 7月1日(土) 飯田人形劇場 出演/谷川俊太郎 &amp; Divera</li> <li>●森のかみしばい劇場 7月2日(日) かざし子ども森公園 飯田下伊那の紙芝居読み聞かせグループによるシヨイント公演</li> <li>●いいだ人形劇フェスタ in フレスタ in フレスタ 7月下旬 市内各所</li> <li>●季刊情報誌「Dogushi」夏号「発行」7月下旬</li> <li>●いいだ人形劇フェスタ2017 8月1日(火)～6日(日) 飯田市内全域 特集「関東の人形劇」</li> <li>●いいだ人形劇センター企画 沢則行監督 巨大人形劇プロジェクト in 南信州「さんしょうお」 「人形劇の図書館」による資料展示ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展③ 「台湾皮影戯劇コレクション」展 8月1日(火)～9月5日(火) 川本美術館3階スタジオ</li> <li>●夏休みアニメーション上映会(予定) 8月中旬 川本美術館</li> <li>●人形アニメーション「死者の書」上映 8月20日(日) 川本美術館</li> <li>●川本喜八郎の遺作、長編アニメーションを特別上映 ●人形劇定期公演 9月上旬 飯田人形劇場</li> <li>●川本美術館企画展④ 懐かしのテレビ人形展 9月23日(祝土)～10月22日(日) 川本美術館3階スタジオ</li> <li>●タンボールしまいワークショップ 9月～10月 川本美術館エントランス 獅子を舞う男 後藤涉氏を講師にタンボールで獅子の頭をつくり、舞を練習。「南信州獅子舞フェスティバル」の創作獅子舞コンクールに出場</li> <li>●川本美術館開館10周年記念上映会 &amp; トークショー 9月30日(土) 飯田人形劇場 川本喜八郎の人形アニメーション 『蓮如と母』のDVD化を記念し、作品の上映 &amp; スペシャルゲストによるトークショー</li> <li>●沢則行監督 巨大人形劇プロジェクト in 南信州「さんしょうお」公演 10月7日(土)・8日(日) かざし子ども森公園「無料」</li> <li>●人形劇講座中級コース 10月～3月(後期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</li> <li>●人形劇定期公演 10月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●秋の夜長を楽しむ人形劇公演 10月27日(金) 飯田人形劇場 秋の夜長にじっくりと人形劇を楽しむ大人向け公演 出演/くわねばへんステージ「猫夜啼」</li> <li>●季刊情報誌「Dogushi」秋号「発行」10月下旬</li> <li>●人形劇 in 丘のまちフェスタ in パル 11月3日(祝金) 川本美術館 1回の上演約1分、定員2名。日本でいちばん小さい人形劇の公演 出演/P・ネーリ座「無料」</li> <li>●川本美術館企画展⑤ チェコ人形展 11月3日(祝金)～12月10日(日) 川本美術館3階スタジオ</li> <li>●森のほかほかクリスマス 12月3日(日) かざし子ども森公園 人形劇公演、クリスマスリース&amp;ピザづくりが楽しめるファミリー向け企画 出演/人形劇団むすび座「どんとこももんちゃん」ほか</li> <li>●人形劇定期公演 12月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●ましゅ&amp;Keiのクリスマス会 12月23日(祝土) 川本美術館 ましゅ&amp;Keiがゲストとともに繰り広げるスペシャル企画 ゲスト/山本光洋</li> <li>●初春を奏く竹田人形館 1月6日(土) 竹田人形館 初春にふさわしい人形芝居の連続公演 出演/竹田人形座竹の子会ほか</li> <li>●人形劇定期公演 1月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●季刊情報誌「Dogushi」冬号「発行」1月下旬</li> <li>●いいだ人形劇まつり「りんごの劇場」2月中旬</li> <li>●保育士人形劇研修発表会 2月中旬</li> <li>●せかいの劇場 vol.6 (予定) 2月中旬 飯田人形劇場 海外の劇団を招聘し、優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画 出演/ナイブ二人形劇場(チェコ)</li> <li>●人形劇定期公演 2月下旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場 Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑥ 懐かしのテレビ人形展 2月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑦ 懐かしのテレビ人形展 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑧ 懐かしのテレビ人形展 4月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑨ 懐かしのテレビ人形展 5月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑩ 懐かしのテレビ人形展 6月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑪ 懐かしのテレビ人形展 7月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑫ 懐かしのテレビ人形展 8月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑬ 懐かしのテレビ人形展 9月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑭ 懐かしのテレビ人形展 10月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑮ 懐かしのテレビ人形展 11月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川本美術館企画展⑯ 懐かしのテレビ人形展 12月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●春の人形劇まつり Part1 人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</li> <li>●Part2 いいだ市民劇場×いいだ人形劇センター共同企画 3月16日(金) 飯田文化会館 出演/人形劇団ブーク「つかつか三十三、ちよろちよろ四十一」ほか</li> </ul>



※無料と表記のあるもの以外は入場料、参加費、入館料等が必要です  
※日程や内容は変更になる場合があります。最新情報はお電話にてお問い合わせいただくか、いいだ人形劇センターのウェブサイト、フェイスブックをご覧ください

# 出会いの楽しみ

人形劇団どんぶりこ

代表 大谷節子

## 第6回 すべての道は 飯田へ通ず



人形劇団どんぶりこは1977年に結成。飯田には1980年代から参加。1988年に私が代表になってからは、新入団員に子供連れで飯田のフェスティバルを見せたくて積極的に連れて行きました。親子で楽しむ経験が活動のエネルギーになると信じて！全国から来るアマチュアとプロの様々な舞台を一度に観ることができ、理屈でない人形劇の魅力を感じてほしかったからです。

飯田で毎年お会いするプロ・アマの方々、おいなんよサロン、ふれあいキャブ、各会場スタッフの方々との交



竹田扇之助記念国際系操り人形館にて(2003年)  
前列写真左から、どんぶりこ石松、おなぎたみこさん、丹下進氏、  
どんぶりこ大谷、どんぶりこ瀬戸山  
後列左から、杉田信博氏、どんぶりこ大谷、須田倫太郎氏、  
竹田扇之助氏、どんぶりこ瀬戸山、和氣瑞江さん

流は何よりの楽しみです。期間中、竹田扇之助記念国際系操り人形館に竹田さんをお訪ねするのも恒例で、海外劇団の歓迎会のお手伝い等思へ出は尽きません。

丹下進氏追悼企画の年には演出の丹下さんを偲んで「だるまちゃん」とてんぐちゃん」を上演させて頂きました。他劇団のどの作品にも丹下さんの息遣いを感じました。

2年に一度の仏・シャルビルメジエルのフェス、4年に一度の国際ウニマフェスにも足を延ばしていますが、飯田は私の人形劇フェスの原点です！

次号は、げきだんはてなうそまことさんです



飯田市内の小学校で唯一、部活動で取り組む丸山小学校人形劇部「つばき」。メンバーは小学校4年生から6年生の10人。「私たちの夢 雨二モマケズ」(2月26日 人形劇定期公演より)

## シリーズ 人形劇に取り組む子どもたち⑥

飯田市の小中学校では多くの子どもたちが人形劇活動に取り組んでいます。これは全国的に珍しく“人形劇のまち飯田”ならではの特色です。子どもたちが取り組む人形劇活動の様子を紹介するシリーズの六回目は、平成28年度の各学校での取り組みからみえた課題や抱負を取り上げます。

### 観る側から演じる側へ

平成6年に飯田市内の全校に創設された人形劇クラブ。「人形劇カーニバル」で人形劇に親しんだ子どもたちが、次は演じる側の体験もしてみようと学校が主体となり始まりました。平成28年度は飯田市内の小中学校28校のうち、22校・25団体が人形劇活動に取り組みましたが近年は難しい局面も迎えており、学校によって取り組み方はさまざまに変化。「授業時間数の削減、クラブ活動の縮小など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。その中でも子どもたちは、生懸命に取り組んでいます」と飯田文化会館人形劇のまちづくり係・村山博則さん。

3月中旬、各学校の担当教諭が集まり、一年間の取り組みを発表・報告。子どもたちの取り組みから



平成28年度、飯田西中学校人形劇部The Worldの部員は一年生2人だけに。先輩2人の応援を得ていっだ人形劇フェスタ、地区文化祭などで上演。「山ば探し」(9月3日 人形劇定期公演より)



追手町小学校3年生は11月の「伊那谷文化芸術祭」[橋南文化祭]での上演に向け、8月下旬から本格始動。専門的な知識を持つ講師から人形制作や稽古の指導を数回受けた(8月31日1回目の人形制作指導より)

見えたこととして「自己表現を学ぶ場となっている」「体を使って表現すること、話すこと、物事への取り組みが積極的になった」「人前に立つて演じることの難しさ、緊張感を体験できた」「自分たちが楽しむだけでなく、お客さんを楽しませる人形劇へと視点が変わり、視線や動き、声の出し方を工夫するようになった」など、子どもたちの豊かな創造性を育む成果が得られたという意見が多く出されました。

また、「人形劇のまち飯田」といわれながら子どもたちが人形劇にふれる機会が少ない」「人形劇が初めてのため外部からの指導者派遣は重要」という

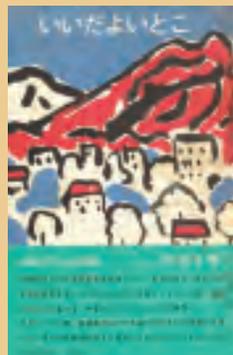
一方、「地域の民話や伝承を教えてもらい台本に取り入れた」「方言を学習し、高齢者たちの前で上演した」との報告も。「保護者や地域住民と協力して取り組む学校が複数あり、人形劇が地域とつながるきっかけの一つになっているようです」と村山さんは話していました。



子どもたちの人形劇活動を担当する教諭が人形づくりを体験(5月20日 指導者講習会より)

### Library Cafe

### 飯田とつながる世界の人形劇図書資料から⑩



発行/中央プラン 1975年4月刊

### 『いいだよいとこ』 村沢武夫 編 伊藤公二 絵

伊那谷は民俗芸能が豊富だし、地元郷土史家による出版も数多い。この「中央道開通記念・いいだガイドブック」は、「遠山の霜月まつり」「黒田人形と廻り舞台」「芝居の好きな飯田人」「飯田の縁日」「昼神に湯が出た」「信濃路の女」など多面的な紹介で、そこには飯田の伝承「岩見重太郎のヒビ退治」も並ぶ。地元黒田や早稲田の人形浄瑠璃にはないが、講談や東北の猿倉や土佐の西畑などの民衆人形劇では欠かせない定番の物語だ。人形劇の街として、この重太郎などを展開すれば面白い題材だと思うのだが。

ところで次の「リニア開通記念版」ならば、どんな内容が並ぶのだろうか。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)

プロジェクトへの参加を呼び掛ける  
監督 沢則行さん(写真左)



### 巨大人形劇「さんしょううお」参加について

#### ①このプロジェクトの参加者

現在、活動している参加者と一緒に入形制作から上演までのすべてに参加し、巨大人形劇「さんしょううお」を創り上げるメンバー。中学生以上で夜間の作業や稽古に参加できる方  
募集人員/スタッフ・キャスト20人以上  
参加費/2,000円(学生無料)

#### ②さまざまなかたちでの協力者

参加者として継続的な活動はできないが、自分のできる形でこのプロジェクトに協力したいという方(例)人形制作の手伝い、公演当日の手伝い、PR活動、経済的支援 など  
参加無料

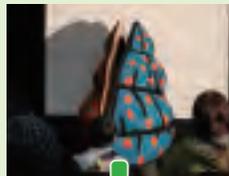
※企業・団体でのご協力も大歓迎です。  
ご不明な点は何でもお気軽にお問合せください

問合せ・申込み: いいだ人形劇センター  
☎050-3583-3594

## つくる、演じる、支える仲間を大募集! 沢則行監督 巨大人形劇『さんしょううお』

いいだ人形劇センターが2015年秋から2年計画ですすめるプロジェクト・巨大人形劇『さんしょううお』。今年の完成を目指し、製作スタッフや上演キャストの参加を呼び掛ける説明会を3月下旬に開催しました。

説明会では人形制作の進捗状況や完成公演の時期、脚本についてのほか、完成までに必要なメンバーの人数などを具体的に報告。「飯田では今まで取り組んだことのない大規模な作品なだけに難しい課題があるけれど、新たに参加してくれる人、応援してくれる人が人を増やして完成までこぎつきたい」と監督の沢則行さんは呼びかけました。



制作中のキャラクター「タニシ」



キャラクターのデザイン画



「エビ」の人形を実際に操ってみる説明会の参加者

いいだ人形劇センターがプロデュースした、市民がつくる飯田発の人形劇  
小学校3年生の夏、いいだ人形劇フェスタで上演したことがきっかけとなり、中学・高校・大学、そして社会人になった現在も人形劇を続ける田川陽香さん(25歳)の一人芝居「劇団マサル」。誰もが親しみやすい作品が評判で、図書館や公民館、福祉施設など、あちこちから声がかかる人気劇団です。

### 劇団マサル



昨夏より上演している「ねずみのはなし」。田川陽香さんが大好きな飯田の市民劇団「田辺」の代表・松井誠さん脚本の作品



初めて人形劇を上演した丸山小学校3年生のころ(写真上段右から5人目)



飯田女子短期大学のサークル「子ども文化研究会」のメンバーと(写真左)

「人魚姫」に参加し、魔女役で出演。台湾での海外公演も経験しました。「人形制作の後、上演に向けて稽古を重ねるうち、自分の時間の中で「人形劇」を一番にしたいと考えるようになりました」。再演、海外公演と稽古を続ける中でその思いはさらに強いものに。その後、東京で開催される人形劇や演劇のワークショップに参加しながら、プロの道へ進むことを決意しました。  
今春、生まれ育った飯田を離れ、毎日が人形劇の世界へ飛び込む田川さん。プロ劇団のメンバーとして、再び飯田の舞台へ戻って来てくれることを願ってやみません。

### 全人協通信 専門人形劇団事情⑥

## 地域劇団の つづやき

人形劇団クスクス  
伊藤 晃

一般社団法人  
全国専門人形劇団協議会(全人協)  
人形劇の普及と芸術性の向上をはかり、人形劇表現への理解と支持を広げることめざし、1997年に発足。51劇団が加盟しています。



昨年春、厚生労働大臣・児童福祉文化賞を受賞した人形劇「かさじょう」

「10年」  
ふるさと  
秋田に戻り、二人だけの「プロ劇団」を作って、この4月で10年になった。「無理だろう」と誰からもいわれたが、無我夢中で駆け抜けて、昨年度は140回を超える上演をした。東日本大震災の後からは岩手県三陸地方での公演も続いている。

昨年には人形劇「かさじょう」で厚生労働大臣から児童福祉文化賞をいただいた。「国民文化祭あきた2014」をきっかけに

始まった「ゆりほんじょう人形劇フェスティバル」はその後も二度の開催を重ねて、次なる準備が始まっている。  
支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

昨年秋には自宅の車庫を「劇場」にして、京都から「みのむし」さんを招いた。これからは講習会やワークショップも開きたい。たくさんの人達と人形劇の魅力を分かち合いたい。東北は急速に少子高齢化が進んでいる。前途は明るくないのかな。でも、山間の小さな保育園で、20人の子どもたちが人形劇を待つてくれている。この子たちと一緒に笑ったり喜んだりしたい。そう思うと、やりたいことがどんどん湧いてくるんだ。

転んだり倒れたり、時には立ち止まって景色を眺めながら、仲間と手をつないで、いつまでも歩んでいきたい。良かつたら一緒に歩きませんか?

おつと、いまは6月に初日を迎える新作に向けて、気持ちを集めさせねば。さあ、進め進め。

